

令和6年度から芦屋市立中学校の部活動の地域移行の取り組みがスタートします

国が進める部活動の地域移行について

国が「学校部活動から新たな地域クラブ活動への移行」に向けた取り組みを進めています。取り組みの方向性は大きく2つです。

1. 「**地域の子どもたちは、学校を含めた地域で育てる。**」という意識の下、少子化が進む中であっても、子どもたちが将来にわたり、**様々なスポーツや文化・芸術活動に親しむことができる機会を、**学校と地域が連携しながら、**新たな地域クラブ活動で確保**します。
2. 休日の活動を含めた、教員の長時間勤務への対応や、指導経験がない教員にとっては大きな負担になっていることから、**学校の働き方改革を踏まえた部活動の地域移行**を行います。

令和6年度からの芦屋市の新たな地域クラブ活動の取り組み

芦屋市では、令和5年度より「芦屋市立中学校の部活動の地域移行検討会議」を立ち上げ、芦屋市で行う具体的な取り組みについて検討を進めてきました。令和6年度に行う取り組みの内容は以下の通りです。

1. **休日の部活動を地域クラブ活動へ移行**することを段階的に進めていきます。
2. 令和6年度は、将来展開予定の**新たな地域クラブ活動の検証事業**を進めます。

1. 学校外での活動



バドミントンクラブ

市立中学校の部活動にないスポーツ・文化的活動での新しい地域クラブ活動が発足します。令和6年度の中学1年生～3年生に案内します。参加費や保険代等の費用は参加者負担となります。



フラッグフットボールクラブ



ダブルダッチクラブ

2. 学校内での活動



現存の市立中学校の部活動において、教員に代わり休日における地域クラブ運営を目指します。中学3年生が引退した後の新チーム発足時に開始します。

教員に代わり、**地域指導者が指導を担当する。**
(各中学校1クラブずつ)

